

2026年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年3月13日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東
 コード番号 5218 URL <https://www.ohara-inc.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 齋藤 弘和
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員(氏名) 中島 隆 (TEL) 042-772-2101
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第1四半期の連結業績(2025年11月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第1四半期	7,175	4.4	329	△36.2	454	△25.0	338	10.9
2025年10月期第1四半期	6,873	8.3	516	40.7	605	59.9	305	162.3

(注) 包括利益 2026年10月期第1四半期 900百万円(62.5%) 2025年10月期第1四半期 554百万円(1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第1四半期	14.06	—
2025年10月期第1四半期	12.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期第1四半期	66,162	51,925	77.9
2025年10月期	66,884	52,347	77.6

(参考) 自己資本 2026年10月期第1四半期 51,519百万円 2025年10月期 51,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	25.0	25.0
2026年10月期	—	—	—	—	—
2026年10月期(予想)	—	0.00	—	25.0	25.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の連結業績予想(2025年11月1日~2026年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,400	4.3	600	△42.9	800	△38.1	500	△33.9	20.79
通期	29,900	3.5	1,600	△10.8	2,000	△12.7	1,200	△30.7	49.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年10月期1Q	25,450,000株	2025年10月期	25,450,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年10月期1Q	1,715,568株	2025年10月期	1,085,568株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年10月期1Q	24,049,432株	2025年10月期1Q	24,364,432株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する当社株式（2026年10月期1Q 144,900株、2025年10月期 144,900株）が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、一部の地域で成長の鈍化が見られたものの、通商政策による影響が残る中でも、総じて緩やかな回復基調を維持しました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢、中国における不動産市場の低迷、米国の政策動向など、先行きに対する不透明感は依然として残りました。

当社関連市場については、カメラ市場においてミラーレスカメラを中心としたレンズ交換式デジタルカメラ及び交換レンズ需要が堅調に推移しました。半導体露光装置市場では、パワー半導体需要の回復に遅れがみられたものの、生成AIに使用されるメモリ及びロジック半導体需要が高まったことなどから装置需要が堅調に推移しました。FPD露光装置市場ではパネルの需給バランスの改善に伴い、装置需要に緩やかな回復がみられました。

このような状況のもと、当連結会計年度の当社業績は、売上高7,175百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益329百万円（同36.2%減）、経常利益454百万円（同25.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益338百万円（同10.9%増）となりました。

売上高は、光事業が4,130百万円（同15.2%増）、エレクトロニクス事業が3,044百万円（同7.4%減）となったことから7,175百万円（同4.4%増）となりました。

営業利益は、売上総利益が2,028百万円（同7.0%減）、販売費及び一般管理費が1,698百万円（同2.1%増）となったことから329百万円（同36.2%減）となりました。売上総利益は、半導体露光装置向け製品の在庫調整に伴い生産設備の稼働率が低下したこと及び製品ミックスが変化したことなどから2,028百万円（同7.0%減）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費が増加したことなどから1,698百万円（同2.1%増）となりました。

経常利益は、営業外収益として円相場的大幅な変動による為替差益の計上及び持分法による投資利益の計上により改善したことから454百万円（同25.0%減）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として固定資産売却益97百万円を計上したことなどから338百万円（同10.9%増）となりました。

なお、期中平均の為替レートは、米ドルが155.99円（前年同期は154.68円となり1.31円の円安）、ユーロが182.06円（前年同期は162.22円となり19.84円の円安）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光事業

当事業の売上高は、4,130百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は35百万円（前年同期は210百万円の営業損失）となりました。売上高の内訳は、光学プレス品3,414百万円（前年同期比15.4%増）、光学ブロック品715百万円（同14.1%増）となりました。

光学プレス品はデジタルカメラ市場向け製品の需要が堅調に推移し、高単価な川下製品の売上が増加しました。また、収益基盤強化に向けた価格改定を実施したことにより、売上総利益率が改善しました。これらの結果により、光事業は前年同期比で増収、収益性は改善しました。

② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、3,044百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は293百万円（同59.6%減）となりました。売上高の内訳は、特殊ガラス1,864百万円（同0.4%減）、石英ガラス1,180百万円（同16.6%減）となりました。

特殊ガラスは、AIサーバー向けプリント基板へ使用される低誘電ガラスの売上が増加したものの、半導体露光装置向け製品の在庫調整に伴い売上が減少しました。石英ガラスは、前年同期に一時的に伸長したFPD露光装置向け製品の需要が、当四半期は通常の水準へと戻ったことから売上が減少しました。また、半導体露光装置向け製品の在庫調整に伴う生産設備の稼働率低下及び製品ミックスの変化がありました。これらの結果により、エレクトロニクス事業は前年同期比で減収、減益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は66,162百万円(前連結会計年度末比1.1%減)となり、前連結会計年度末と比べ722百万円の減少となりました。資産の内訳ですが、流動資産は、受取手形及び売掛金が808百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ995百万円減少し39,264百万円(同2.5%減)となりました。固定資産は、投資有価証券が243百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ273百万円増加し26,898百万円(同1.0%増)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は14,237百万円(前連結会計年度末比2.1%減)となり、前連結会計年度末と比べ300百万円の減少となりました。負債の内訳ですが、流動負債は、賞与引当金が369百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ250百万円減少し9,727百万円(同2.5%減)となりました。固定負債は、長期借入金が122百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ49百万円減少し4,509百万円(同1.1%減)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は51,925百万円(前連結会計年度末比0.8%減)となり、前連結会計年度末と比べ422百万円の減少となりました。これは自己株式が677百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,361,720	13,918,456
受取手形及び売掛金	7,607,463	6,799,297
電子記録債権	1,335,936	1,344,640
有価証券	99,280	297,840
商品及び製品	3,370,214	3,510,205
仕掛品	8,321,727	8,256,251
原材料及び貯蔵品	4,314,952	4,590,685
その他	874,369	592,596
貸倒引当金	△25,834	△45,896
流動資産合計	40,259,830	39,264,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,346,199	16,314,201
減価償却累計額	△11,644,907	△11,661,668
建物及び構築物(純額)	4,701,292	4,652,532
機械装置及び運搬具	19,801,695	20,000,246
減価償却累計額	△17,032,118	△17,233,604
機械装置及び運搬具(純額)	2,769,577	2,766,642
工具、器具及び備品	13,174,317	13,190,445
減価償却累計額	△3,695,111	△3,776,341
工具、器具及び備品(純額)	9,479,206	9,414,103
土地	353,050	358,482
使用権資産	499,679	464,110
減価償却累計額	△233,064	△176,453
使用権資産(純額)	266,615	287,656
建設仮勘定	528,575	663,735
有形固定資産合計	18,098,316	18,143,152
無形固定資産	140,895	150,925
投資その他の資産		
投資有価証券	7,259,598	7,503,177
退職給付に係る資産	832,728	837,665
繰延税金資産	196,471	168,559
その他	97,151	94,799
投資その他の資産合計	8,385,950	8,604,202
固定資産合計	26,625,162	26,898,280
資産合計	66,884,993	66,162,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,536,233	1,445,654
電子記録債務	577,208	620,927
短期借入金	4,199,804	4,949,706
リース債務	204,229	214,783
未払法人税等	261,676	154,125
契約負債	61,264	79,650
賞与引当金	877,216	508,174
役員賞与引当金	108,896	31,373
事業構造改善引当金	20,681	—
未払金	1,457,282	1,128,553
その他	673,413	594,512
流動負債合計	9,977,907	9,727,463
固定負債		
長期借入金	853,573	730,595
リース債務	342,001	319,566
繰延税金負債	2,298,578	2,366,781
退職給付に係る負債	744,477	767,138
役員株式給付引当金	133,281	137,890
資産除去債務	85,029	85,029
その他	102,746	102,752
固定負債合計	4,559,689	4,509,755
負債合計	14,537,597	14,237,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,955,040	7,955,040
利益剰余金	29,893,225	29,618,743
自己株式	△1,470,035	△2,147,285
株主資本合計	42,233,230	41,281,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,387,408	2,538,153
為替換算調整勘定	7,148,938	7,521,157
退職給付に係る調整累計額	162,477	178,297
その他の包括利益累計額合計	9,698,824	10,237,608
非支配株主持分	415,341	406,030
純資産合計	52,347,396	51,925,137
負債純資産合計	66,884,993	66,162,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年11月1日 至2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年11月1日 至2026年1月31日)
売上高	6,873,902	7,175,373
売上原価	4,693,302	5,147,164
売上総利益	2,180,599	2,028,209
販売費及び一般管理費	1,664,457	1,698,874
営業利益	516,141	329,334
営業外収益		
受取利息	34,423	48,740
受取配当金	8,306	3,075
為替差益	—	14,935
持分法による投資利益	26,421	63,785
受取補償金	51,885	—
その他	18,170	12,869
営業外収益合計	139,209	143,405
営業外費用		
支払利息	10,680	17,796
固定資産除却損	408	198
為替差損	37,045	—
その他	1,658	339
営業外費用合計	49,793	18,334
経常利益	605,557	454,406
特別利益		
固定資産売却益	—	97,063
特別利益合計	—	97,063
税金等調整前四半期純利益	605,557	551,469
法人税等合計	261,447	189,647
四半期純利益	344,109	361,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,968	23,570
親会社株主に帰属する四半期純利益	305,141	338,251

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
四半期純利益	344,109	361,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	330,075	150,745
為替換算調整勘定	△260,551	196,569
退職給付に係る調整額	6,637	15,820
持分法適用会社に対する持分相当額	133,999	175,648
その他の包括利益合計	210,161	538,784
四半期包括利益	554,271	900,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,303	877,035
非支配株主に係る四半期包括利益	38,968	23,570

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	光事業	エレクトロニクス 事業	計	
売上高				
光学プレス品	2,959,142	—	2,959,142	2,959,142
光学ブロック品	627,459	—	627,459	627,459
特殊ガラス	—	1,870,987	1,870,987	1,870,987
石英ガラス	—	1,416,312	1,416,312	1,416,312
(1) 顧客との契約から生じる 収益	3,586,602	3,287,300	6,873,902	6,873,902
(2) その他収益	—	—	—	—
(3) 外部顧客に対する売上高	3,586,602	3,287,300	6,873,902	6,873,902
(4) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—
計	3,586,602	3,287,300	6,873,902	6,873,902
セグメント利益又は損失(△)	△210,866	727,008	516,141	516,141

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	光事業	エレクトロニクス 事業	計	
売上高				
光学プレス品	3,414,785	—	3,414,785	3,414,785
光学ブロック品	715,726	—	715,726	715,726
特殊ガラス	—	1,864,337	1,864,337	1,864,337
石英ガラス	—	1,180,523	1,180,523	1,180,523
(1) 顧客との契約から生じる 収益	4,130,512	3,044,861	7,175,373	7,175,373
(2) その他収益	—	—	—	—
(3) 外部顧客に対する売上高	4,130,512	3,044,861	7,175,373	7,175,373
(4) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—
計	4,130,512	3,044,861	7,175,373	7,175,373
セグメント利益	35,340	293,994	329,334	329,334

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式630,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が677,250千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,147,285千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)
減価償却費	329,373千円	368,165千円